科目区分	専門教育科目	授業科目名	۲	゙ジネスプラン	ーング	科目コード	24L307	担当者	武藤 玲路、濵	ロ なぎさ、森 弘	র্মন		担当形態	複数
対象学科・コース	生活創造学科 ビジネス・医療秘書コース	配当年次	2年次	開講学期	後期	単位数	2	必修・選択 の別	必修	免許・資格要件	秘書士選択、医療	聚管理秘書士/診察	療実務士必修	
授業形態	講義	履修条件									教育職員免許法	科目区分		
実務の経験を有する教員担当科目				験内容及び の関連							施行規則に 定める 科目区分等	科目に含める ことが必要な 事項		

	商品開発やイベントの企画に取り組むことで、ビジネスの現場で求められるデザイン思考等の知識・技能をスキルアップさせる。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	活動の取組状況と成果報告書、成果発表等を総合的に評価する。
授業の方法	学生による主体的・能動的な学修形態をとり、授業の時間は進捗状況の発表、作業の打ち合わせなどが中心で、それ以外の時間を実際の作業に充てる。	アクティブ・ラーニングの 実施方法	毎回のグループディスカッションを通して、商品開発やイベントの企画を実践する。

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前	・事後学修
第1回	シラバスの説明、昨年度の商品開発の紹介、オリジナル作品の考 案	授業の振り返りと関連学習。	第9回	実践型教育プログラムの経過報告、各自のビジネスプランニング (就活)	授業の振り返りと関	連学習。
第2回	ビジネスで役立つ「デザイン思考」/ 商品企画とは	授業の振り返りと関連学習。	第10回	実践型教育プログラムの経過報告、各自のビジネスプランニング (就活)	授業の振り返りと関	連学習。
第3回	アロマセットの商品開発の説明、香りの説明、香りの選定	授業の振り返りと関連学習。	第11回	商品開発の成果発表会の準備・リハーサル	授業の振り返りと関	連学習。
第4回	イメージボード、イメージカラー、キーワードの検討	授業の振り返りと関連学習。	第12回	商品開発の成果発表会の準備・リハーサル	授業の振り返りと関	連学習。
第5回	オリジナルのデザインの考案	授業の振り返りと関連学習。	第13回	商品開発の成果発表会の準備・リハーサル	授業の振り返りと関	連学習。
第6回	実践型教育プログラムの経過報告、各自のビジネスプランニング (就活)	授業の振り返りと関連学習。	第14回	商品(アロマ、テープ、シール等)の完成,広報/SNS情報発信	授業の振り返りと関	連学習。
第7回	実践型教育プログラムの経過報告、各自のビジネスプランニング (就活)	授業の振り返りと関連学習。	第15回	成果発表会、意見交換会	授業の振り返りと関	連学習。
第8回	実践型教育プログラムの経過報告、各自のビジネスプランニング (就活)	授業の振り返りと関連学習。			事前・事後 学修時間 (分/授業1回)	180分/授業1回

教科書 [書名/著者 名/出版社]	必要に応じてプリントを配付する。	ビジネスプランは、計画中のビジネスについて体系的に整理、確認、共有するために作成するものです。 頭の中にある考えを紙に書いてまとめることで、考えが整理され、社員等の関係者とプラン
参考書 [書名/著者 名/出版社]	なし	の共有ができるようになります。

評	픎	Ħ	淮

													評価基準								
		学修		配	評価	方法の	の配り	点比	率 (%)		学修成果の小分類			尺度						
	F	『成果の大分類	学修成 果の 中分類 [10の カ]	点比率(%)学修成果の	期試	時	出物	発表内 容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法/評価指標	レベル5 (S:100~90%)	レベル4 (A:89~80%)	レベル3 (B:79~70%)	レベル2 (C:69~60%)	レベル 1 (F:59%以下)			
J		態度	① 学習 意欲	40					40		授業への参加意識が欠 如することなく、向上 心を持って真面目に受 講することができる。	勤勉性 真面目さ 自己管理力	参加意識	欠如0回で40点。	欠如1回で30点。	欠如2回で20点。	欠如3回で10点。	欠如4回で0点。			
ů.	Ù ā	志向	② 規律性	10					10		私語や居眠りをすることなく、人として守るべき善悪や是非の判断ができる。	職業倫理 ルール 社会性	受講態度	注意0回で10点。	注意1回で8点。	注意2回で6点。	注意3回で4点。	注意4回で2点。			
		知識	③ 知識																		
		· 技 能	④ 技能																		
		思考	⑤ 情報活 用能力																		
点	造岩	判断	⑥ 課題 解決力	10					10		テーマに関する問題を 発見し、論理的・創造 的な思考で、解決策を 模索できる。	問題発見力 論理的 · 創造的思考力	活動状況の観察	根拠データを90%以上を 使用して解決できる。 10点。	根拠データを80%以上を 使用して解決できる。8 点。	根拠データを70%以上 を使用して解決でき る。6点。	根拠データを60%以上を 使用して解決できる。4 点。	根拠データを50%以上 を使用して解決でき る。2点。			
	-		⑦ 言語活 用能力	10			10				テーマに関する活動や 成果について、的確な 文章表現や文章構成が できる。	文章表現力 文章構成力	活動報告書	活動の90%以上を理解して記述できる。10点。	活動の80%以上を理解して記述できる。8点。	活動の70%以上を理解 して記述できる。6 点。	活動の60%以上を理解して記述できる。4点。	活動の50%以上を理解 して記述できる。2 点。			
		現	® コミュ ニケー ション 力	10				10			テーマに関する活動や 成果について、的確な プレゼンや意思伝達が できる。	意思伝達力 プレゼンカ	成果発表会	活動の90%以上を理解して説明できる。10点。	活動の80%以上を理解して説明できる。8点。	活動の70%以上を理解 して説明できる。6 点。	活動の60%以上を理解して説明できる。4点。	活動の50%以上を理解 して説明できる。2 点。			
57		行動	⑨ 主体性	10					10		テーマに対して、主体 的・自主的に取り組む ことができる。	自主性 行動力	活動状況の観察	活動に90%以上主体的に 取り組むことができ る。10点。	活動に80%以上主体的に 取り組むことができ る。8点。	活動に70%以上主体的 に取り組むことができ る。6点。	活動に60%以上主体的に 取り組むことができる。 4点。	活動に50%以上主体的 に取り組むことができ る。2点。			
	践	応用	協働性	10					10		テーマに関する他者の 意見や感情を理解し、 チームワークで取り組 むことができる。	他者理解 チームワーク	活動状況の観察	活動の90%以上にチーム ワークで取り組むこと ができる。10点。	活動の80%以上にチーム ワークで取り組むこと ができる。8点。	活動の70%以上にチームワークで取り組むことができる。6点。	活動の60%以上にチーム ワークで取り組むことが できる。4点。	活動の50%以上にチームワークで取り組むことができる。2点。			
	合	計		100			10	10	80			1	ı	1	1	I	1	1			